

minamina Vol.23 通信

第20期中間期・株主通信 平成29年4月1日▶平成29年9月30日

株式会社
メディカルシステムネットワーク

証券コード：4350

わたしたちの目指すもの

良質な医療インフラの構築を通じて
地域住民のQOL(Quality of Life)
向上に貢献すること

～すべては地域の人々の笑顔のために～





Q1 第2四半期の決算のポイントなどについて教えてください。

A1 主力事業である医薬品等ネットワーク事業の新規加盟店の増加、調剤薬局事業においてかかりつけ機能充実による処方せんの獲得や新規出店及びM&A店舗が業績寄与したこと、その他の事業についても堅調に推移したことから、売上高は46,552百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益1,271百万円（同131.5%増）、経常利益1,272百万円（同134.6%

増）、親会社株主に帰属する四半期純利益363百万円（同447.2%増）となりました。

Q2 足元の経営環境を踏まえて、下期の取り組みテーマとしては、どのような点が挙げられますか？

A2 第四次中期経営計画の最終年度である平成30年3月期、上期は重点施策への取り組みが奏功し医薬品等ネットワーク事業や調剤薬局事業が順調に推移しました。

下期は第四次中期経営計画の総仕上げと次期診療報酬改定に備えた対応に注力してまいります。

医薬品等ネットワーク事業は、好調な加盟件数の増加の継続に注力してまいります。調剤薬局事業は、引き続きかかりつけ機能充実による処方せんの獲得や、後発医薬品の推進、在宅医療への取り組み、M&Aの取り組み強化等により、次期診療報酬改定に備え強固な収益基盤を構築してまいります。また、賃貸・設備関連事業、給食事業、その他事業においても、収益

改善に向けた具体的な取り組みを進めております。

さらに、平成29年10月1日には、当社が連結子会社である(株)システム・フォー、(株)ファーマホールディング及び(株)日本レーベンを吸収合併する等のグループ組織再編が完了していることから、新体制の安定化や、継続的な経営効率化を図ってまいります。

Q3 最後に利益還元方針ならびに株主の皆様へのメッセージをお願いします。

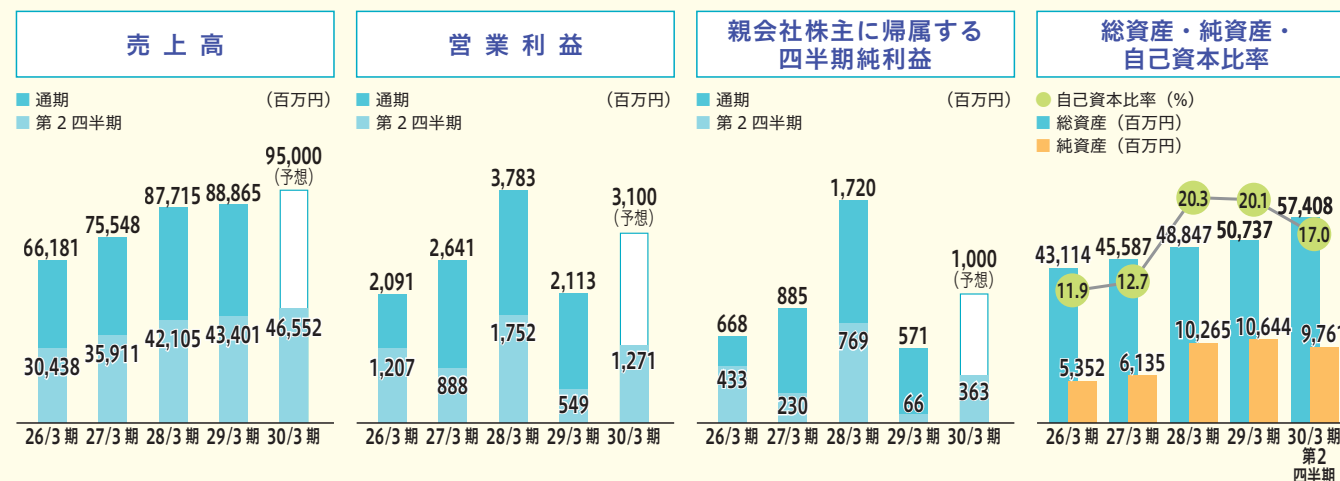
A3 当社は、財務体質の強化、事業規模の拡大、人材育成等のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に見合った形で株主の皆様へ安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

配当につきましては、通期で10.0円の配当を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援のほど、宜しく願い申し上げます。

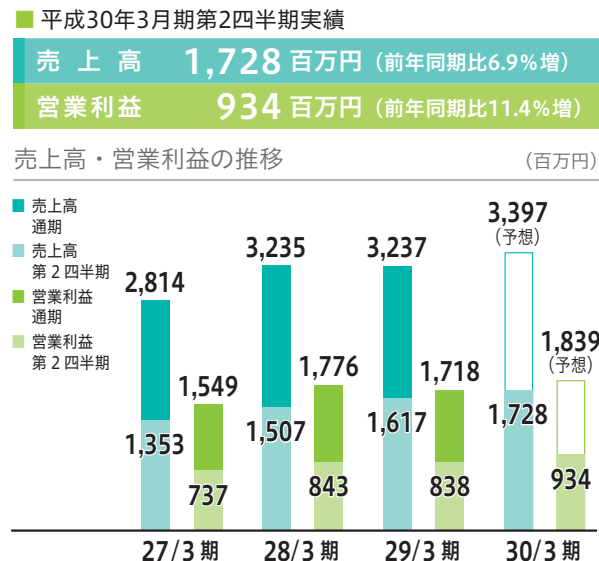
主な経営指標の推移

Financial Highlights



◆ 医薬品等ネットワーク事業

新規加盟件数が順調に推移したことに伴い受発注手数料収入が増加したこと等により、売上高は1,728百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益934百万円（同11.4%増）となりました。また、医薬品ネットワーク加盟件数は、平成29年9月30日時点、2,012件（前期末比242件増）となりました。

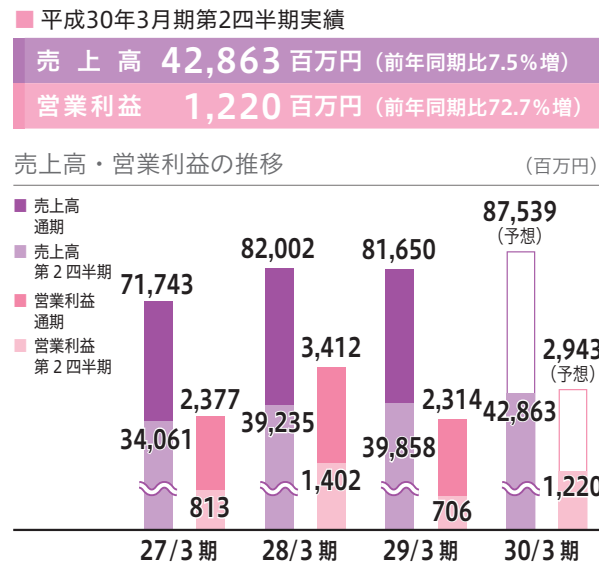


◆ 調剤薬局事業

地域住民の皆様の健康を様々な面からサポートする地域薬局としての取り組みを進め、既存店の処方せん枚数及び単価が順調に推移したことや、新規出店及びM&Aにより取得した店舗の業績寄与等から、売上高は42,863百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益1,220百万円（同72.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間に調剤薬局6店舗を新規出店するとともに株式取得により3社（5店舗）を取得する一方、3店舗の閉鎖及び1店舗の事業譲渡を行いました。

また、グループ会社の吸収合併（2社）を行い、収益基盤の強化を図りました。



◆ 賃貸・設備関連事業

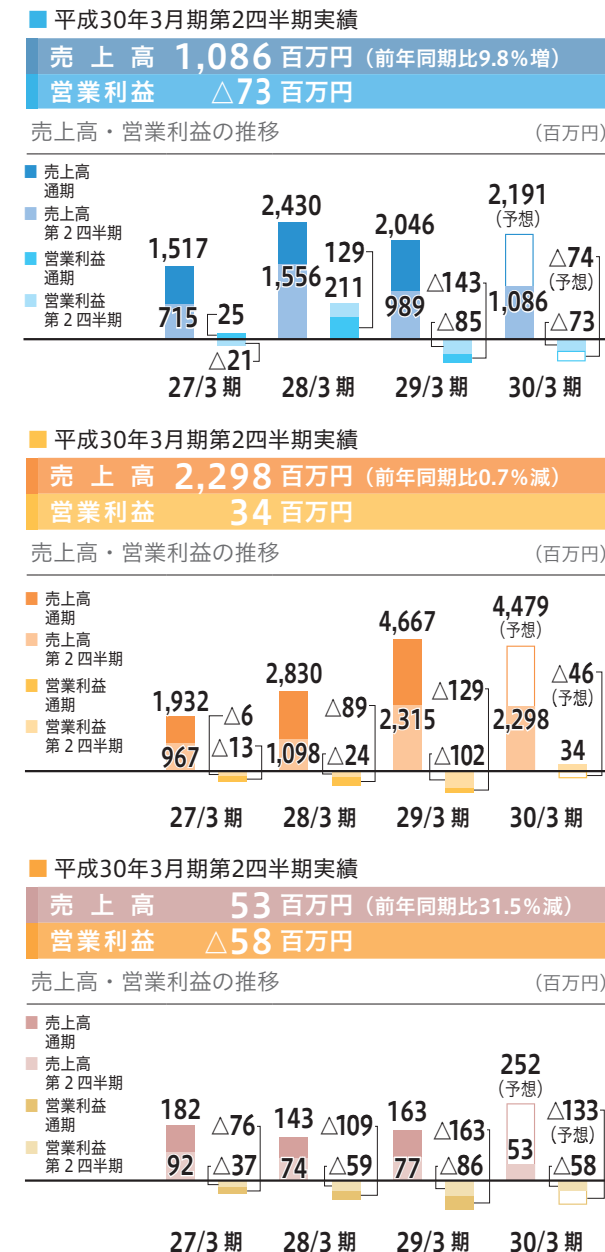
不動産賃貸収入が堅調に推移したこと等により、売上高は1,086百万円（前年同期比9.8%増）、営業損失73百万円（前年同期は85百万円の損失）となりました。なお、ウイステリア千里中央は82戸中27戸入居契約済となっております（平成29年9月30日時点）。

◆ 給食事業

本事業に関しましては、契約単価の見直しや食材費の適正化を進めたこと等により、売上高は2,298百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益34百万円（前年同期は102百万円の損失）となりました。

◆ その他事業

本事業に関しましては、売上高は53百万円（前年同期比31.5%減）、営業損失58百万円（前年同期は86百万円の損失）となりました。なお、当社連結子会社であった治験施設支援業務を行う（株）エスエムオーメディスの全株式を平成29年6月21日付で譲渡しております。



薬だけじゃない薬局を目指して

皆様が暮らす地域の一員として、一人ひとりに寄り添う地域薬局として、なの花薬局は様々な取り組みを通じて、地域の皆様の健康をトータルでサポートします。

“食”の取り組み

疾患別パンフレットや栄養素リストを使って、薬局栄養相談を実施！

- ◎栄養士による食生活などに関する講話
- ◎栄養士による疾患別パンフレット、栄養素リストの解説
- ◎管理栄養士・栄養士が在籍する店舗では、お薬の待ち時間などを活用して、食事や体調管理などの相談を実施



“運動”の取り組み

患者さまへの認知症コグニサイズ*指導を実施！

*認知症予防運動

- ◎薬局店舗にて認知症予防講座を開催
- ◎薬剤師、栄養士、薬局店舗スタッフが講師となり、患者さまへ認知症コグニサイズを指導

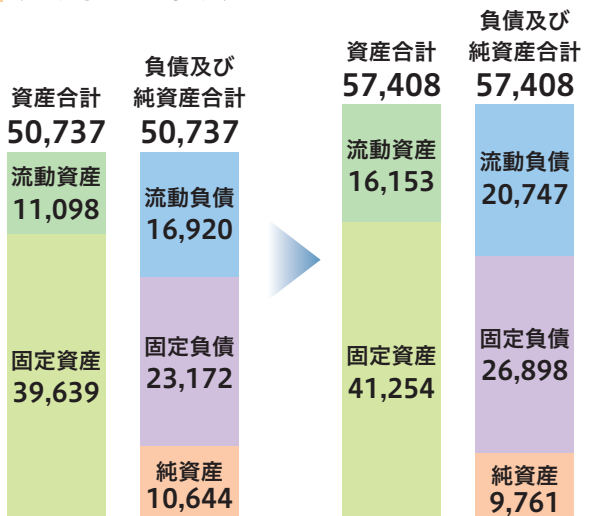


なの花薬局千里中央店における認知症予防講座及び認知症コグニサイズ指導実施風景 (平成29年9月)

Topics

財務状態の概要

(単位: 百万円)

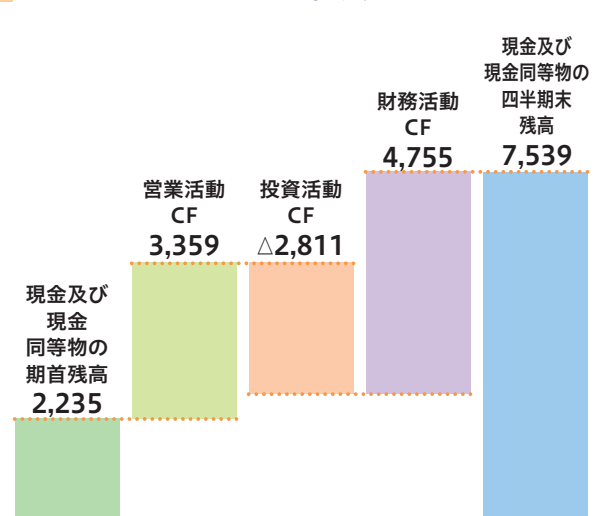


【平成29年3月期】

【平成30年3月期第2四半期】

キャッシュ・フローの概要

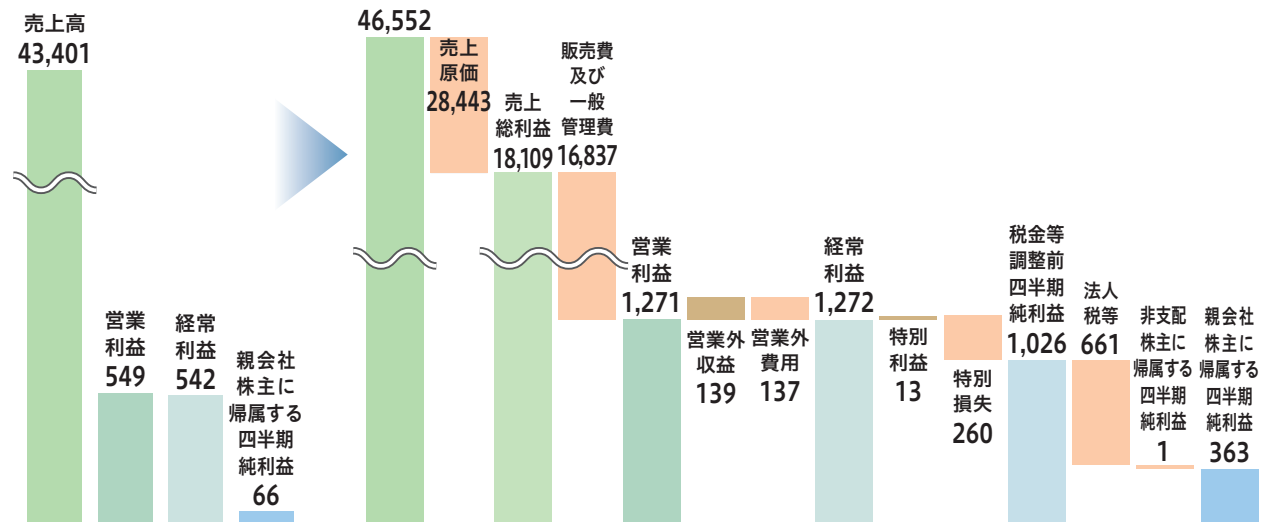
(単位: 百万円)



【平成30年3月期第2四半期】

損益の概要

(単位: 百万円)



【平成29年3月期第2四半期】

【平成30年3月期第2四半期】

会社概要 (平成29年9月30日時点)

社名 株式会社メディカルシステムネットワーク
本社 北海道札幌市中央区北10条西24丁目3番地
設立 平成11年9月
資本金 1,932百万円
代表者 代表取締役社長 田尻稲雄
主な子会社 株式会社北海道医薬総合研究所
株式会社なの花北海道
株式会社なの花東日本
株式会社なの花中部
株式会社共栄ファーマシー
株式会社トータル・メディカルサービス

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
配当の基準日 9月30日、3月31日 (年2回)
1単元の株式数 100株
公告方法 電子公告 (http://www.msnw.co.jp/IR_kabushiki_07/)
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

各種お取扱・お問い合わせはこちらまで

お取扱窓口 …………… 証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。(みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります)

なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。

お問い合わせ先 …………… 〒168-8507
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル
0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

お取扱店 …………… みずほ証券
本店、全国各支店
プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)
みずほ信託銀行
本店および全国各支店

未払配当金のお支払 ……上記お取扱店および、みずほ銀行の本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります)

IRのお問い合わせ先 株式会社メディカルシステムネットワーク
経営企画部 IR 担当
TEL : 011-612-1069 FAX : 011-612-1068
e-mail : info@msnw.co.jp

お知らせ

金融情報配信会社 株式会社
フィスコによる当社について
の企業調査レポートを配信
しています。



配信媒体

- ヤフーファイナンス、MSNマネーなどのポータルサイト
- トムソンロイター、ブルームバーグなどの投資専門家向けプラットフォーム
- 各証券会社のイントラネット (証券営業担当向け) など

当社HPにも掲載しています。
ぜひご覧ください。

<http://www.msnw.co.jp>



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物
油インキを使用して印刷しています。